

おトク!あんしん!楽ラク!
中古車の個人売買をサポート
カーコン・マーケット



『今日、僕は車を売ります』
走行距離5万5千200キロ
思い出がたくさん詰まった車
父に貰った車
助手席には彼女がいた
幸いに無事故
だから僕は、個人で車を売りに出かけます
カーコンビニ倶楽部は
車の個人売買をおすすめしています

カーコン・マーケットとは
カーコンビニ倶楽部と生活総合情報サイト「All About」による中古車販売を支援するインターネットサービスです

〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル <http://carconmarket.jp>

『トランプ大統領の風(1)』

米国大統領トランプ氏が就任する。昨年の暮れから世界中がトランプ旋風に巻き込まれ、各国の国債から、株式はもろろんのこと、領土問題から人種問題に至るまで、トランプ氏の発言に一喜一憂している。

「日本は100万台以上の車を送ってくる。アメリカはどうだ?東京でシボレーを見たことがない。日本はいつもアメリカを打ち負かしてきた」

この発言にあるように、多少時代錯誤的であっても、日本車への攻撃が加速されることは間違いない。アメリカファーストを唱えるトランプ氏はナシヨナリズムを基本にした保護主義の色が強く見え、TPPの離脱も加えて、日本の貿易に大きな影響を与えるのは間違いない。

一方で、為替は意外にも円安に動き、アメリカから車を輸入するにしても、為替による価格差があるため、GM車やクライスラー車の車が日本で売れ始めるということはあまり考えられない。一方で、円安に転じたデメリットとして、近々大きな問題となるのは、おそらく石油価格であろう。12月1日OPECが減産で合意したと発表。今後石油価格が上がり始め、1バレルあたり50ドル前後で推移している現在の3割から4割上昇、つまり70ドル前後の輸入価格になるであろう。概算すると、ハイオクで

170~180円、普通ガソリンでも150円前後程度までは、高騰することが考えられる。

昨年11月にトヨタが電気自動車の量産化を目指すと発表した。先に発売した水素自動車「ミライ」を含めて、新エネルギー時代を加速させるのもトランプ氏の手腕一つにかかっている。

本来政治家は、世の中を平和にするために法律を制定し、税金を適正に消費し、加えて、諸外国との関係を有効にする、などの役割がある。トランプ氏の場合は、むしろ政治経済家といった方がぴったりくるような気がする。当初は、変わり者扱いをされたのであるが、優れた能力があればあれだけの事業家にはなりえないし、勝算がなければビジネスは行わない。つまり、アメリカという国家を壮大な事業とみなして、経済的利益を追求することを大きなテーマにすることであろう。どうやら、私たちもトランプ氏の一挙手一投足から目を離せない一年になりそうだ。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任